



えりまききつねざる号

第152号

発行日：平成28年9月1日
発行者：福田脳神経外科病院
院内情報委員会
(☎0952-29-2223)

診察室から ～ 硬膜下血腫について ～ 院長：田口 明

「硬膜下血腫^{しゅ}」とは、脳組織を保護する硬膜の下に血液がたまる疾患で、原因は頭部打撲（外傷）による場合がほとんどです。打撲をしてから発症するまでの時間の違いで、2つのタイプがあります。

ひとつは打撲後に脳表面の血管に傷が付き、短時間のうちに大出血をきたして意識障害や手足の運動障害が起こるタイプで「急性硬膜下血腫」といい、交通事故や転落などの激しい打撲の場合にみられます。

これに対して、打撲直後は無症状であっても1カ月くらい経過してから歩行障害などの症状が出現する「慢性硬膜下血腫」があります。

このタイプは打撲が本人も記憶にないくらいの軽度である場合もあり、周囲の方が「言うことがおかしい」「歩き方が変だ」「元気がなくなった」などの症状に気づき、来院して発見されることがあります。

特に高齢者では、脳が萎縮し、脳と硬膜の間にすき間ができており、軽度の打撲でも脳が揺り動かされ、このすき間を橋渡しする血管が切れてしまい起こります。治療法としては「急性硬膜下血腫」では、全身麻酔下に緊急開頭術を行い、「慢性硬膜下血腫」の場合には、局所麻酔下に穿頭術^{せんとう}を行います。

両方ともうまく血腫が除去され、脳損傷をくい止めることができれば症状は改善してきます。特に高齢の方は、頭部を打撲しないように気をつけて下さい。

また、打撲後に歩行障害や記憶力低下などの症状に気が付いたら、
^{ずがい}頭蓋内精査を試みることをお勧めします。



院内研修会行いました

～褥瘡予防対策委員会～

委員長 O.Y.

テーマ：オムツについて

講師：リブドゥーコーポレーション 薬師寺様

当院では、オムツ排泄をされている患者様に対して皮膚障害（褥瘡など）が起こらないよう、また、少しでも不快感をもたれることなく使用していただけるように、職員全員が同じ知識とケアで患者様に向き合えるよう、定期的にオムツについての勉強会を行っております。

今回はすべての職員がオムツを装着した状態で勉強会に参加しました。羞恥心からなのか苦笑いといった表情もありましたが、皆真剣に取り組みました。

オムツ装着
指導前の感想

- ・隙間があって不安
- ・フィット感がない
- ・おむつをつけていると、足が開いて思うように動けない
- ・この状態での排泄は無理！

などのマイナスコメントが多く上げられました。

しかし、オムツの正しい選択方法、取り扱い方、装着方法の説明と指導を受けて各人、オムツの付け直し後は、

- ・自分の身体に沿ってオムツが当たっているから安心感と安定感がある
- ・横漏れ防止のための工夫が分かった
- ・正しく装着すれば自分が思っているよりも小さいサイズでよかった
- ・排泄量にあったパットを選ぶことができればオムツ代金も削減できる

などプラスコメントが多く聞かれました。

何より日々オムツは進化していると、今使用しているものが最新だと思っていると、実は新規格の更にもいい商品が出ていたりします。またオムツ自体だけでなく、オムツに関するケアの方法も進化し、使用される方の身体に、介護者に、また経済的にも優しいオムツに変化していることに気づかされました。



今回の体験や学びはこれまでの業務の見直しとなりました。これからも患者様にとって望ましいケアの提供ができるよう、努めていきます。

骨粗しょう症(骨密度)検査 はじめました



骨粗しょう症とは・・・？

骨粗しょう症は、鬆(す)が入ったように骨の中がスカスカの状態になり、骨がもろくなる病気です。骨がスカスカになると、わずかな衝撃でも骨折をしやすくなります。

骨粗しょう症は、がんや脳卒中、心筋梗塞のようにそれ自体が生命をおびやかす病気ではありませんが、骨粗しょう症による骨折から要介護状態になる人は少なくありません。

生涯を健康で充実した状態で過ごすためには、血压やコレステロール値を気にするように骨強度にも気をかけ、定期的に検診を受けたいものです。

健康な骨
密度が高く丈夫



骨粗しょう症の骨
内部がスカスカ



検査時間

足を置いて**10秒**です。

片方のかかとで測定

します。



検査料金

・保険適用

・自由診療

検査料は**500円**です

高い安全性

X線を使用しない

超音波測定

超音波は妊産婦の胎児の観察、診断に日常的に使用されていて、女性や若年層にも安全に測定できます。

すぐにできる

背筋チェックしてみよう！

まっすぐ立ち、耳と肩・腰、鼻と胸の位置関係をチェックしましょう。



初任者研修終了しました

看護部 E.Y.

介護の基礎（介護保険・移動、移乗・清拭・排泄など）を週に2日ずつ勉強し、練習しながらグループワークやテストに取り組みました。施設を訪問し、機械浴やレクリエーションなど、様々な状況での介護スタッフの対応や取り組みを見学しました。改めて、利用者様に安心して過ごしていただけるかというのが、スタッフによって決まるのだと実感することができました。信頼関係を築くことが介護の上でも大切だと思いました。



自分自身、まだまだ足りない技術・知識がたくさんあり、これからの自分への課題となりました。この研修で学んだ技術を活かしていきたいと思います。

“レスパイト” ご存知ですか？

レスパイトとは「休息」や「息抜き」という意味で、普段ご家庭で介護されている方を対象とした《介護家族支援短期入院》のことです。

介護をされているご家族等の病気や事故、冠婚葬祭などの社会的事情で自宅介護が一時的に困難な場合や、介護者が日々の介護に疲れを感じ、介護不能となることの予防目的で在宅患者様に短期入院していただく制度です。

ご利用をご希望される方は外来師長 松永 までお尋ねください。

詳しくは

福田脳神経外科病院



まで

9月22日(木) 秋分の日 は在宅当番です

いつも通りに開院しております。

急な体調不良などお困りがありましたらご来院ください。



予告

9月8日(木) 13時から 第2回平成28年度防火訓練を行います。
当日は非常ベルの音、職員の大声や足音でご迷惑をおかけすると思います。
皆様の命を守る大切な訓練です。ご理解、ご協力をお願いいたします。